



第10回日本公衆衛生看護学会学術集会 10周年記念大会 6th Global Network of Public Health Nursing 合同



メインテーマ

平時が大事！ リスクに備え「生」を衛るポジティブヘルス

会 期： ライブ配信 2022年1月8日(土) - 9日(日)
オンデマンド 2022年1月4日(火) - 1月31日(月)

演題登録期間： 2021年6月1日 - 8月23日
事前参加登録： 2021年6月1日 - 10月29日
一般参加登録： 2021年10月30日 - 2022年1月18日
学術集会URL： <http://web.apollon.nta.co.jp/10ja-6gnphn/>

この度、第10回日本公衆衛生看護学会学術集会を、10周年記念大会として、第6回国際保健師ネットワーク学術集会と合同で、大阪よりオンラインにて開催させていただくことになりました。テーマにお示した「生」には、先人らの言葉から、「生命」「生活」「生産」「生きる権利」という意味を持たせています。人々の「生」を衛ること、それは保健師をはじめとする公衆衛生看護従事者が、最も根幹に据えている使命です。現実の世界には様々なリスクが潜んでおり、また突如勃発するリスクがあるのも事実です。だからこそ、平時から、リスクを予測し備えておくこと、しかもそれを「負をなくす」というネガティブ面ばかりに焦点をあてるのではなく、いつも「より正の方向へ」というポジティブ面に着目し、「みんなで」「ともに」「楽しく」を大事にして進めていく。これは、公衆衛生看護を担う私たちの専門性に他なりません。本学術集会では、あらためて、私たちの専門性を確認し、明日への英気を養えればと思います。

保健師をはじめとする公衆衛生看護従事者は、来る日も来る日も、ゆりかごから墓場まで、あらゆる状態・状況にある人々を対象に、より健康な方向を目指して、創意工夫の活動を展開してきた歴史があります。そして今も、私たちは、社会の変化に応じて活動を改善し続けており、それはこれからも絶えることはありません。そんな**私たちが、自信と誇りをもって、人々の「生」を衛っていく**ために、本学術集会では、母子保健から健康危機管理まで幅広い分野を貫くプログラムを準備いたしました。コロナ禍のなか、オンラインでの開催となりますが、そのメリットを最大限生かし、みなさまにとって、明日の糧となる収穫がありますことを、心より願っています。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

第10回学術集会長(6th GNPHN学術集会副会長) 松本 珠実(大阪市健康局健康推進部)

6th GNPHN学術集会長(10回学術集会副会長) 岡本 玲子(大阪大学大学院公衆衛生看護学教室)

6th GNPHN URL : <http://web.apollon.nta.co.jp/10ja-6gnphn/en/>

後 援 : 厚生労働省、文部科学省、公益社団法人日本看護協会、一般財団法人日本公衆衛生協会
全国保健師長会、一般社団法人日本産業保健師会、公益社団法人大阪府看護協会
公益社団法人大阪公衆衛生協会、大阪府、大阪市、堺市、大阪府市長会、大阪府町村長会
大阪大学(順不同)

協 賛 : 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 (協賛プログラムに★印)

運営事務局 : (株)日本旅行 大阪法人営業統括部 MICE営業部 E-mail : 10th_japhn@nta.co.jp

学術集会事務局 : 大阪大学大学院 公衆衛生看護学教室 E-mail : phn10j6g@sahs.med.osaka-u.ac.jp

- 公衆衛生看護学会の会員全員にポケットプログラムを郵送します。ただし送付期日までに年会費の入金確認ができた場合です。
- 講演集のPDFダウンロードは12月下旬から可能となります。冊子体での配布はありません。

プログラム

※【合同】【GNPHN】はプレゼンが英語の場合、日本語字幕が付きます。
※国際GNPHN参加者は国内を含むすべてのプログラムに参加できます。
※【GNPHN】は国際GNPHN参加者のみが参加できるプログラムです。

- **第10回学術集会長講演【合同】**
災害対策における保健師の力
The Power of Public Health Nurses in Disaster Measures
松本 珠実 (大阪市健康局健康推進部 保健主幹)

- **6th GNPHN Presidential Speech (学術集会長講演)【合同】**
Development and Implementation of Public Health Nursing Art
公衆衛生看護技術の開発と実装
岡本 玲子 (大阪大学大学院公衆衛生看護学教室 教授)

- **Keynote Speech (基調講演)【合同】**
Public Health Nurses: Health Professionals for No One Left Behind
保健師：だれひとり取り残されない地域を見守る専門職 ★
中村 安秀 (公益社団法人日本WHO協会 理事長、大阪大学 名誉教授
甲南女子大学看護リハビリテーション学部 教授)

- **Keynote Speech (基調講演)【合同】**
Use of Epidemiological Research Findings in Health Activities
疫学の研究成果を保健活動に活かす～生活習慣病予防、エコチル調査など～
磯 博康 (大阪大学大学院公衆衛生学教室 教授、日本公衆衛生学会 理事長)

- **Symposium (シンポジウム)【合同】**
Actual Situation and Perspective of Public Health Nursing Activities to Respond to Covid-19 in Each Country 各国のCovid-19対策における保健師活動の実際と展望 ★
日本より 山本 祐子 (大阪府健康医療部健康医療総務課 参事)
米国より Mary Koslap-Petraco (Adjunct Clinical Assistant Professor, Stony Brook University School of Nursing, ニューヨーク、ステイブロッック大学 臨床准教授)
豪州より Allison Roderick (Manager/Infectious Disease Specialist Nurse Contact Management; COVID19, at Communicable Disease Control Branch in South Australia 感染専門看護師, 南オーストラリア伝染病対策本部 COVID19 管理者)
韓国より Dosoon Park (Community Health Practitioner, Gong-Jin Primary Health Care Post 保健診療員, ゴンジンプライマリヘルスケア保健診療所)
ナイジェリアより Stella Iwuagwu (Executive Director, NPO; Centre for the Right to Health 事務局長, NPO 健康権利センター)

- **招へい講演【JAPHN】**
「貧困・虐待・・・最底辺のリアルと向き合って」★
石井 光太 (ノンフィクション作家)

- **特別講演【JAPHN】**
日本公衆衛生看護学会の成長と今後の展望
麻原 きよみ (聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授)

- **特別講演【JAPHN】**
保健所におけるCOVID-19に関わる統括保健師の活動 ★
山崎 初美 (神戸市健康局保健企画担当 担当局長)

- **シンポジウム【JAPHN】**
高齢者自身が活躍し支え合う地域づくりとフレイル予防の今 ★
基調講演 河野 あゆみ (大阪市立大学大学院看護学研究科在宅看護学領域 教授)
シンポジスト 田中 明美 (元生駒市 次長、厚生労働省老健局地域づくり推進室 室長補佐)
安斉 智子 (堺市健康福祉局生活福祉部地域共生推進課 参事)

- **Invited Lecture 【GNPHN】**
Policies and Programs for Persons with Severe Mental Illness in Post -Deinstitutionalization Era: The U.S. Experience
 精神障害者の脱施設化後時代における政策とプログラム：アメリカの経験
 Phyllis Solomon （University of Pennsylvania, Center for Public Health Initiatives
 ペンシルバニア大学 教授）
- **Invited Lecture 【GNPHN】**
Understanding the Impact of Adverse Childhood Experiences (ACEs) in Adolescent Motherhood
 10代母親のACE（逆境的小児期体験）が（育児・子どもの発達に）及ぼす影響の理解
 大川 聡子 （関西医科大学看護学部 准教授）
 水粉 茉莉香 （門真市健康増進課 保健師）
- **Invited Lecture 【GNPHN】**
Development of Needs-Oriented Healthcare Systems by Public Health Nurses in Japan
 日本の保健師によるニーズに基づく地域ヘルスケアシステムの開発
 吉岡 京子 （国立保健医療科学院生涯健康研究部 上席主任研究官）
- **Invited Lecture 【GNPHN】**
The Collaboration Between Community Health and School Health～Let's Work Together as a Team Without a Wall～
 地域保健と学校保健の連携～そこに壁のない体制をめざして～
 中村 富美子 （静岡県沼津市立大岡中学校 養護教諭）
 内山 有子 （東洋大学ライフデザイン学部 准教授）
- **教育講演 【JAPHN】**
新型コロナウイルスとメンタルヘルス対策 ★
 高崎 正子 （キオクシア株式会社 四日市工場 総務部 健康支援センター シニアエキスパート）
- **教育講演 【JAPHN】**
災害に強い地域コミュニティの形成と地域との協働 ★
 生田 英輔 （大阪市立大学大学院生活科学研究科 准教授）
- **セミナー 【JAPHN】**
地域の社会課題を解決するためのデータヘルス計画と政策形成 ★
 野口 緑 （大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学 特任准教授）
- **セミナー 【JAPHN】**
こころを動かす行動経済学（ナッジ理論）の活用
 高橋 勇太 （NPO法人PolicyGarage理事/横浜市行動デザインチーム; YBIT 代表
 横浜市鶴見区こども家庭支援課 こども家庭支援担当係長）
- **セミナー 【JAPHN】**
日本の母子保健の変遷と保健師に期待すること
 加藤 則子 （十文字学園女子大学教育人文学部 教授）
- **企画展 【合同】**
丸山 博先生(元大阪大学衛生学教授)が遺したもの -「生」を衛る保健師へのメッセージ-
- **オンライン交流会 【合同】**
 時差にも負けず、言葉の壁も超えて、唄って踊って、世界の保健師&仲間をつなごう！

★印は（公財）在宅医療助成 勇美記念財団との共催プログラム

※プログラムは変更になる可能性があります。ホームページを随時更新してまいりますので、最新情報はそちらをご確認ください。

1. 演題登録期間（国内学会・国際学会共通）

2021年6月1日（火）～8月23日（月）23時59分（JST 日本標準時）

2. 演題発表について（国内学会・国際学会共通）

- 1) 本学術集会では「活動報告」または「研究報告」の2種類を募集します。
- 2) 演題発表については**オンデマンド配信のみ**を予定しています。
- 3) 演題は、発表時点で未発表のものに限ります。
- 4) 発表形式は次の3種類よりご希望の形式を選択してください。ご希望に添えるよう進めて参りますが、最終的な発表形式については事務局にご一任ください。

口演：5-10分の音声入り動画ファイルによる発表（PPTに音声収録、またはZoomで録画）

示説：PDFファイルによる発表（PPT複数枚スライドのPDF化。※大判1枚は不可）

誌上发表：抄録掲載による発表（Web用に事務局にてPDF化）

3. 応募要件について

- 1) 国内学会の筆頭者・共同発表者（連名で発表される方）は全員、学会にご入会いただく必要があります（開催日時点で国内参加者はJAPHNの会員であること。国際学会は筆頭者のGNPHN会員が必須）。
- 2) 会員になる場合は、演題登録期限までに入会手続きを済ませてください。
- 3) 国内学会の筆頭者の方は、演題登録前に必ず共同発表者に学会入会への同意を得てください（学術集会参加費とは別に、学会の年会費の納入が必要となります）。
- 4) 入会手続き中・会員番号不明の場合も演題登録が可能です。
- 5) 入会手続きについては学会ホームページの「入会案内」をご参照ください（注：学術集会の参加申込とは手続き先が異なります）。国内学会入会の要件については「本会の目的に賛同し公衆衛生看護に関心を持つ個人」です。両学会ともに職種等の限定はありません。
- 6) 国内学会の演題発表において、筆頭者となれるのは1題のみです（複数演題の共同発表者、ワークショップの筆頭・共同世話人になることは可能です）。
- 7) **国際学会の参加登録者は、国際学会・国内学会の両方で筆頭者として各1題発表できます。**
- 8) 筆頭者は「事前」の参加登録期間内に必ず自分が参加登録する方の参加費を支払ってください。

4. 登録方法

- 1) 学術集会ホームページの**演題登録画面からオンラインにて登録**してください（詳細はホームページ参照）。
- 2) **国内学会はタイトル60文字以内（副題含む）、抄録本文1,000字以内**です。**国際学会はタイトル20words以内、抄録本文350words以内**です。必ず倫理的配慮と利益相反についてご記入ください。
- 3) 登録期間中は何度でも修正が可能です。詳細は登録後の自動返信メールをご覧ください。
- 4) 希望する発表領域を第2希望まで選択して頂きますが、調整の結果ご希望通りにならない場合がありますことをご了承ください。

5. 今後のスケジュール

- ・ 演題発表までのスケジュールは次の表のとおりです。査読は、ホームページにお示した査読基準に沿って行い、E-mailで結果をお知らせします。査読後の修正や採用後の発表準備については、随時E-mailとホームページにてお知らせします。

6月1日～8月23日 23時59分まで	演題登録受付
10月上旬	査読結果のお知らせ(メールでご連絡)
10月下旬	査読後修正×切(該当者のみ)
11月中旬	発表群・発表日時等のお知らせ
11月中旬～12月上旬	発表ファイルの提出(詳細は採択時にご連絡予定)

6. 優秀演題の選考について

- ・ 採択された演題から優秀演題をノミネートし、最も優秀な演題を表彰します。選考基準はホームページをご覧ください。表彰された演題の動画と講評は、会期中にライブ配信する予定です。

ワークショップ登録 (国内学会のみ)

1. ワークショップについて (ワークショップ登録期間・査読等今後のスケジュールは演題登録と同じです)

- 1) ワークショップは、公衆衛生看護のテーマについて、参加者との意見交換を通じて理解を深め、学び合う、双方向的な発表形式です。
- 2) 公衆衛生看護のテーマに関連する内容について、保健活動の担当者や研究者の交流を目的とした場とすることも可能です(例: 新任保健師の交流集会、学校保健領域の交流集会等)。
- 3) ただし、同窓会、宗教活動、単位認定を伴う研修会・講習会(学会主催のものを除く)はご遠慮ください。
- 4) 今回のオンライン開催では、ワークショップでお話しになる内容は、事前に音声入り動画ファイルや資料としてご提出いただき、参加者には事前にご覧いただいたうえで、世話人の方が設定したZoom等のオンライン会場に参加者をご案内し、指定の時間に追加の講話や解説、意見交換をしていただく形になります(詳細は「開催方法」をご覧ください)。
- 5) 類似する内容のお申し込みがある場合には、企画委員会で審議の上、抽選とさせていただきます。また、先駆的な研究成果・実践活動上のトピックスに関する内容、および他の学会等でまだ取り上げていない企画を優先します。
- 6) オンライン開催にあたっては、学会の個人情報保護方針、及び発表者用ガイドラインに示す著作権ポリシーに則って実施していただくことになります。

2. 応募条件について

- 1) 筆頭世話人・共同世話人(連名で発表される方)は全員、日本公衆衛生看護学会にご入会いただく必要があります(開催日時点で本学会の会員であること)。
- 2) 筆頭世話人は、ワークショップ採択通知後、「事前」の参加登録期間内に、必ず参加費と合わせてワークショップのご入金をお願いいたします。

- 3) 筆頭世話人の方は、演題登録前に必ず共同世話人に本学会入会への同意を得てください（学術集会参加費とは別に、学会の年会費の納入が必要となります）。
- 4) 非会員の場合は、演題登録期限までに入会手続きを済ませてください。
- 5) 入会手続き中・会員番号不明の場合も演題登録が可能です。
- 6) 入会手続きについては学会ホームページの「入会案内」をご参照ください（注：学術集会の参加申込とは手続きの窓口が異なります）。入会の要件については「本会の目的に賛同し公衆衛生看護に関心を持つ個人」としており、職種等の限定はありません。
- 7) ワークショップにおいて、筆頭世話人となれるのは1題のみです。（ただし、国内学会参加者の場合、これとは別に、国内学会の演題発表1題の筆頭者、他の演題の共同発表者、および他のワークショップの共同世話人になることができます。国際学会参加者の場合は、国際・国内の両方の演題発表において各1題の筆頭者として発表できます。）

3. 開催方法の3ステップ

【資料の事前提出】

- 1) ワークショップ採択後、12月上旬までに音声入り動画やPDF等の資料ファイルを提出して頂きます（詳細は、採択時にご案内します）。プレゼンは複数枚スライドからなるファイルを用いてください。音声入りの場合は、ファイルが複数に分かれる場合も、トータルで40分以内となるようにご用意ください。報告・講演・発題用など複数のファイルの合計時間が40分以内であれば、本数に制限はありません。参加者には1月4日より公開され、事前に資料を視聴して参加していただくようご案内します。
- 2) **国際学会との合同開催であり、オンデマンド配信期間（1月4日～31日を予定）があることから、国内だけでなく、海外の方々にもご覧いただけるコンテンツ制作にご協力ください**（国内学会参加の場合：日本語動画に英語字幕を付ける、国際学会参加の場合・その逆、又は日本語版と英語版両方を作成するなど）

【ライブでの意見交換】

- 3) 2日間の学術集会開催期間中、所定の80分を割り当てる予定です（可能な範囲で調整します）。時間の使い方は自由です。資料ファイル提出時に、参加者への参加方法の案内を所定のシートに記入していただきます（Zoom等の種別・URL・パスワード・日時・参加準備・当日の流れ等）。参加者がWeb上で全ワークショップの一覧を見ることができるようになります。当日の時間延長については、参加者への説明と合意をもってご自由になさってください。

【オンデマンド期間のチャット意見交換】

- 4) 各ワークショップの資料掲載ページ上で、チャットのやり取りができるようになります。1月31日までの間、自由に交流なさってください。チャットに書き込みがなされたら筆頭世話人にメールが届くようにする予定です。

※開催方法についてご不明な点やご心配な点は、お気軽にヘルプデスク（運営事務局）にお知らせください。

4. 登録方法

- 1) 学術集会ホームページの**ワークショップ登録画面からオンラインにて登録**してください。
- 2) **タイトル60文字以内**（副題含む）、**抄録本文1,000字以内**です（詳細はホームページ参照）。最終的なレイアウトは事務局にご一任ください。
- 3) 登録期間中は何度でも修正が可能です。詳細は登録後の自動返信メールをご覧ください。

参加登録

1. 参加登録期間（国内学会・国際学会共通）

【事前】 2021年6月1日（火）～10月29日（金）

【一般】 2021年10月30日（土）～2022年1月18日（火）

2. 学術集会参加費

【国内学会】

参加登録種別	事前	一般
会員	10,000 円	11,000 円
非会員	11,000 円	12,000 円
学生(院生除く)	3,000 円	3,000 円
ワークショップ	10,000 円	—

【国際学会】

参加登録種別	事前	一般
GNPHN 会員	20,000 円	25,000 円
GNPHN 非会員	30,000 円	35,000 円
途上国	10,000 円	12,000 円
学生(院生除く)	8,000 円	10,000 円

- 1) 国内学会・国際学会の合同企画には参加者はどなたでもご参加いただけます（詳細はプログラム参照）。
- 2) 国際学会参加者のみが参加できるプログラムがあります。
- 3) 国際学会参加者は国内学会のすべてのプログラムに参加できます。
- 4) 国際学会参加者は、国内学会でも筆頭で1演題発表できます。
- 5) プログラムは、2022年1月4日から31日まで、オンデマンドで視聴できます。
- 6) 筆頭者は「事前」の参加登録期間内に必ず参加費を支払ってください。
- 7) ワークショップの筆頭世話人は、ワークショップ採択通知後、「事前」の参加登録期間内に、参加費と合わせてワークショップのご入金をお願いいたします。
- 8) 国際学会に「GNPHN会員」で参加登録する場合、現在会員でない方は、GNPHNの入会（正会員60ドル 7千円弱、学生15ドル 1700円弱）が必要です。国内学会参加の場合も、会員で参加する場合、日本公衆衛生看護学会への入会（正会員1万円、学生5千円）が必要です。

※各学会への入会については学術集会と窓口が異なりますので、8頁の案内をご覧ください。

※会員として参加された方が開催終了時点で学会入会の手続きをされていなかった場合には、非会員の参加費との差額をご請求いたします。

※一度ご入金いただいた参加費の返金はいたしかねます。恐縮ですがご了承ください。

3. ポケットプログラム・講演集について（国内学会・国際学会共通）

	参加登録者	参加未登録者
会 員	ポケットプログラムを事前送付 講演集 PDF ダウンロード可	ポケットプログラムを事前送付
非会員、学生(院生除く)	講演集 PDF ダウンロード可	—

- 1) ポケットプログラムの事前送付は12月上旬を予定しています。ご不要の方は登録時にお知らせください。
- 2) 講演集のPDFダウンロードは12月下旬から可能になります。講演集の冊子体での配布はありません。
- 3) 会員に送付するポケットプログラムは、送付までに年会費入金を確認できた方にお送りします。公費でお支払いの場合や入金日を事前連絡していただいた場合も、実際の入金日で判断いたします。

学術集会WEBサイト

【国内学会】

<http://web.apollon.nta.co.jp/10ja-6gnphn/>



【国際学会】

<http://web.apollon.nta.co.jp/10ja-6gnphn/en/>



●オンラインセミナー（Webinar）のご案内

WILEY社の雑誌「Public Health Nursing」で2021年11月にGNPHN企画にて「世界の保健師活動特集号」が組まれます。学術集会ではGNPHN参加者を対象として、その中から厳選した著者がスピーカーとなるオンラインセミナーを開催します。乞うご期待！

- 第10回日本公衆衛生看護学会学術集会 10周年記念大会
6th International Conference of Global Network of Public Health Nursing 2022合同開催
参加・演題登録等に関するお問い合わせ・ヘルプデスク（運営事務局）
（株）日本旅行 大阪法人営業統括部 MICE(マイス)営業部
〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-1 山口玄ビル6階
TEL: 06-4256-3869 FAX : 06-6204-1763
Email: wj_gakkai@nta.co.jp
担当：谷・池田 営業時間：平日 9:30～17:30（土日祝日：休業）
- 日本公衆衛生看護学会のご入会・年会費に関する案内
日本公衆衛生看護学会ホームページをご覧ください <https://japhn.jp/>
お問い合わせ窓口：一般社団法人日本公衆衛生看護学会 事務支局
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西印刷（株）
TEL 075-415-3661 FAX 075-415-3662 Email: japhn@nacocos.com
- Global Network of Public Health Nursing (<https://www.gnphn.com/>)
MEMBERSHIP TYPES: Individual Membership, Student, Retired
<https://www.gnphn.com/membership/join-the-global-network/>
Email: info@gnphn.com

[開催中止の判断について] 感染症の流行等や災害により開催自粛や中止が必要な場合、日本公衆衛生看護学会理事長と協議の上速やかにオンライン開催中止を決定し、学術集会を講演集による誌上発表に切り替えます。中止決定は学術集会 Web サイトに緊急掲示するとともに、各演者等にはメール等でご連絡いたします。